

しものせき Port News

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

令和元年12月
Vol.13



Contents

工事の状況

国際クルーズ拠点整備事業の現地工事に着手
着工式典を開催しました

今年度工事の内容

基礎工事

ケーソン製作工事

その他

下関工科高等学校の生徒による現場体験

山口大学工学部学生による現場見学

クルーズ船初寄港情報

下関港湾事務所に関する主な出来事や話題をお届けします。

工事の状況

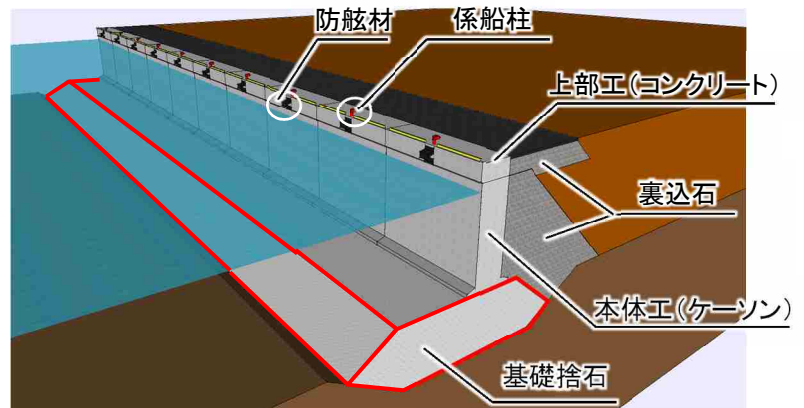
国際クルーズ拠点整備事業の現地工事に着手

本事業は、平成31年4月に下関港が官民連携による国際クルーズ拠点の形成を推進するための「国際旅客船拠点形成港湾」に指定されたことを受け、下関港新港地区において、新たに、国がクルーズ船専用岸壁、市がふ頭用地、MSCクルーズ社が旅客ターミナルを整備するものです。

令和元年11月、下関の長州出島において、国際クルーズ拠点整備事業の岸壁工事に着手しました。今年度は岸壁の基礎部分(床堀と基礎捨石)の工事を実施します。



【国際クルーズ拠点事業】



【岸壁のイメージ 赤枠:基礎部分】

※ケーソンなどのコンクリート構造物により土留をした岸壁構造を「重力式岸壁」と呼びます。コンクリートなどを使用するので比較的堅固で耐久性に優れています。

着工式典を開催しました。

11月17日(日)、下関市及び株式会社MSCクルーズジャパン並びに国土交通省九州地方整備局の共催により着工式典を行いました。

式典では、前田晋太郎下関市長および、オリビエロ・モレリ株式会社MSCクルーズジャパン代表取締役社長の式辞、高田昌行国土交通省港湾局長の挨拶に続いて、地元選出議員等からの祝辞があり、最後は、平家太鼓を披露した下関平家踊保存会馬関連の子供たちと一緒にテープカットが行われ新規着工を迎えたことを祝いました。



【着工式典の様子】



右:MSCクルーズジャパン モレリ社長
中:下関市 前田市長
左:国土交通省 高田港湾局長

今年度工事の内容

基礎工事

まず岸壁の土台となる基礎工事から開始します。

現地の海底には軟弱な土砂があり、頑丈な基礎を造るために除去する床堀という作業を行います。軟弱な土砂を取り除かなければ、後々岸壁が傾いたり段差がつくなど、係留施設として所定の機能を確保できない恐れがあります。また、床堀は、「グラブ浚渫船」という作業船で行います。

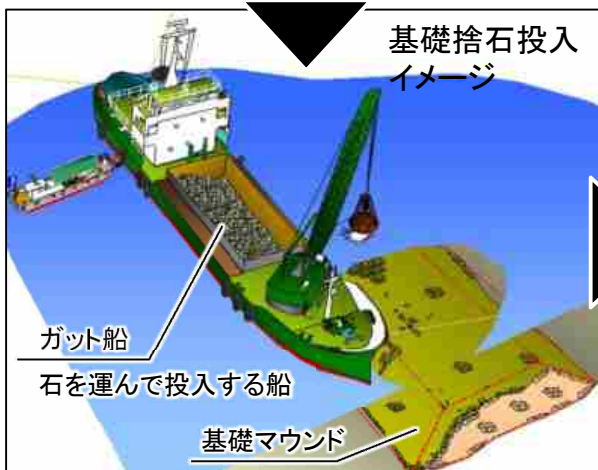
軟弱な土砂を撤去した後に、石を投入し土台となる基礎マウンドを造ります。基礎マウンドの上にはケーソン(後述)が設置されるため、表面を潜水土により水平にします。



▲10トンダンプトラック約4台分の土砂を一度につかむことができます。



▲取り除いた土砂は長州出島の埋立材として有効利用します。



▲凹凸を平らにします。潜水土により人力作業で行います。

ケーソン製作工事

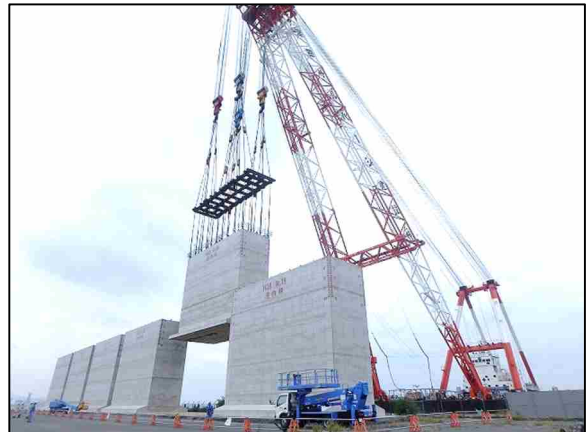
岸壁の本体となるコンクリートの箱を「ケーソン」と呼びます。

ケーソンは、鉄筋コンクリート製で、長さ19.8m、幅8.2m、高さ14m、重量は約996トンあります。

製作後、現地の基礎(土台)が出来次第、大型クレーン船により運搬、設置されます。



【ケーソン完成写真】



【ケーソン吊上げ時の様子(過去の工事)】

その他

下関工科高等学校の生徒による現場体験

令和元年9月24日、下関工科高等学校土木科の生徒9名が、長州出島で行われている工事現場を見学しました。当日は、(一般社団法人)日本潜水協会九州支部及び工事を行っている受注者の協力のもと、長州出島の役割、港湾工事における潜水作業の重要性を学ぶとともに、クルーズ専用岸壁に使用するケーソン製作工事の現場を見学しました。

生徒からは、「現場を見られて良い勉強になった。」「建設業の仕事に興味を持った。」などの感想が述べられました。



【工事現場において鉄筋結束を体験する生徒】

山口大学工学部学生による現場見学

令和元年年11月20日、山口大学工学部社会建設工学科3年生約50名の学生が、当事務所が工事を実施している下関港海岸の現場や長州出島を訪れ、工事の概要や下関港の役割について学んで頂きました。

学生からは、「講義で学んだことが実際の現場で役立っていることを実感した。」「現場のスケール感を感じることが出来た。」など感想が述べられ、学生にとって良い機会になったと思います。



【ケーソン製作現場を見学する学生(長州出島)】

クルーズ船初寄港情報

寄港日 令和元年10月16日
船名 ル・ラペルーズ(フランス)
船社 ポナン社
総トン数 10,000トﾝ 全長127.3m
総乗客定員 184人



◀手を振ってお見送りする園児たち



国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所
〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL (083) 266-3291 FAX (083) 261-1123
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間: 9:30~12:00と13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

